



活動報告書

はじめに 「ブラック育児社会」を変えたい！

『誰かが居てくれるだけで、こんなにもリラックスしてゆっくり休めて子どもが居てくれることも愛おしく感じますね。』と、産後サポートを利用されたお母さんの感想です。

平成28年度より進めてきた広島市内での産後サポート事業。

どのお父さんもお母さんも真面目に一生懸命子育てを頑張っています。頑張り過ぎているからこそ、疲れていたり、調べてみれば情報も多くて余計に不安でいっぱい、イライラが積もっていたりと悪循環なことも。

ママたちは、24時間、休みなく頑張っていてブラック企業ならぬ、ブラック育児の社会状況の中で頑張っていると感じ、以下のように居場所の提供・提案を続けて参りました。

- ①産後サポートばあばのおうちで、ゆっくり休んで元気になれるように
- ②産後サポートばあばのおうちで、自分の子育てに自信が持てるように
- ③職場の理解を進め、パパも子育てできるように
- ④職場の理解を進め、ママも仕事をがんばれるように

平成29年度からは、国や地方でも働き方改革を進めていく流れの中で、子育て世帯の勤務環境改善の経過で単身者への労務荷重など職場内での全体的なバランスを考えている経営者や労務総務担当者の悩みもみえて参りました。

子育てはとても大切なこと。これからの時世の中で子どもが健やかに育っていかなくては私たちの未来はありません。

子どもの最善の利益を守り、ママとパパを支える取り組みを、さらに一緒に進めてくださることを願います。

産後ママの憩いの場ばあばのおうち
運営者一同

もくじ

1.	産後サポート拠点づくり事業概要	
(1)	訪問事業のための研修会	3
(2)	産後サポート訪問事業	5
(3)	産後サポートばあばのおうち利用	7
	ご利用者の声	9
(4)	企業における産前・産後サポート事業の活用	11
(5)	おやこ（働く親と子ども）食堂の実施	13
(6)	報告書の作成と成果報告会の開催	15
(7)	連携団体会議の開催	16
2.	産後ママの憩いの場ばあばのおうちメンバー紹介	17

～訪問事業のための研修会～ 家庭訪問型子育て支援 ホームスタート 第1回ホームビジター養成講座 開催

すべての子どもに幸せなスタートを

ホームスタート Home-Start

家庭訪問型子育て支援ボランティア
ホームビジター募集中!

あなたの子育て経験を
ホームビジターで
活かませんか?

訪問先のママの声

「子育てにイッパイイッパイで
外出する余裕もなかった時に来てもらえて
本当に助かりました。子どもと外出する
よいきっかけになりました。」

「子どもと二人きりでイライラした気持ちを
子どもへぶつけてしまっていました。
いろんな話を聞いてもらえて、穏やかな気持ちで
子どもに接することができるようになりました。」

ホームスタートとは?

小さなお子さんのいる家庭を訪問し、お母さんと一緒に話をしながら、
一緒に家事や育児をするボランティア活動です。イギリスで44年前に
始まったこの住民の支え合い活動は、日本全国約100地域にひろがり、
子どもを育むあなたがかつたがりが生まれています。

**こんなママたちが
あなたを待っています!**

初めての育児で
誰か一緒にいてほしい

引っ越したばかりで
地域のことがわからない

二人目が生まれて
上の子が赤ちゃんげえりして
イライラしてしまう

子どもを連れて
外出しづらく
親子で家にこもりがち

いろんな話を
気軽にしたい

ホームビジターの声

「訪問する度にママの表情が明るく
なっていき、ほんの少しでも私も
役に立っているのかな～と感じられて
私の方が元気をもらっているみたいです」

「週に2時間×数回訪問する活動で
オーガナイザーさんもしっかりサポート
してくれるので私にもできる活動です」

※オーガナイザー：調整サポートスタッフ

「訪問の後は、なんだか家族にも優しい
気持ちになれるし、新しい仲間とも
出会うことがうれしいです」

体験型ビデオを
ご覧ください!

ホームビジターになるためには

- 子育て経験があり、全8日間のホームビジター養成講座に参加修了
することが必要です。(講座日程については裏面をご覧ください)
- 特に資格は必要ありません。
- 養成講座の参加費は無料です。修了後にボランティア
での訪問活動にご協力いただくことが前提となります。

詳しくはこちら!

「傾聴」と「協働」の活動例

- ★話をしながら一緒に過ごす(主に聴く)
- ★一緒に公園や子育て施設等に出かける
- ★一緒に離乳食やお菓子を作る
- ★一緒に子どもと遊ぶ

2019年4月19日木曜日	講師	特定非営利活動法人ホームスタートジャパン	渡里 祐子
2019年4月26日木曜日	講師	公益財団法人広島県男女共同参画財団 常務理事	棚多 里美
2019年5月10日木曜日	講師	おや楽コミュニケーション「こころとことば」	大下 幸恵
2019年5月17日木曜日	講師	特定非営利活動法人ホームスタートジャパン	山田 幸恵
2019年5月31日木曜日	講師	広島県助産師会 助産師	山根 美喜子
		広島市こども未来局 こども・家庭支援課	
2019年6月 7日木曜日	講師	特定非営利活動法人ホームスタートジャパン	森田 圭子
2019年6月14日木曜日	講師	ホームスタートひろしま	香川 恭子

家庭訪問型子育て支援 ホームスタート ホームビジター養成講座



実施場所：広島市総合福祉センター
対象者・数：24名定員／11名受講
スタッフ構成：事務局スタッフ 3名

受講者の感想

◎自分の価値観にとらわれず、
色々な視点で物をみようと思った。
◎素晴らしい仲間に恵まれ、
通うのが楽しかった。
まずやってみようとワクワクしている。



① 内容：ホームスタートボランティア養成講座

1日目	10:00～12:30	オリエンテーション
	13:30～16:00	「ホームスタートの内容、意義を学ぶ」
2日目	10:00～12:30	「家庭とはなにか、親とはなにか」
	13:30～16:30	「子どもの理解」子どもの発達など
3日目	10:00～12:30	「傾聴の意義と方法1」
	13:30～16:30	「傾聴の意義と方法2」
4日目	10:00～12:30	「家庭で活動する上でのポイント」
	13:30～16:30	「ホームビジターの実務」
5日目	10:00～12:30	「問題や悩みのある家庭への理解」
	13:30～16:00	「地域連携のために」
6日目	10:00～12:30	「家庭の中で活動する1」
	13:30～16:30	「家庭の中で活動する2」
7日目	10:00～15:00	「シェアリング・修了テスト」、 「修了式、登録、交流会」
8日目		個別に日程調整「終了後の個別面談」



ホームビジター
第1期 11名誕生

家庭訪問型子育て支援 ホームスタートひろしま開始

内容：外出が困難な家庭を訪問することで、子育て家庭の孤立防止

実施日（期間）2018年7月～2019年3月31日、継続中）

実施回数：問い合わせ件数 50件、利用申込件数 44件

実施場所：依頼者宅、依頼者希望施設、依頼者希望地域

対象者・数：申込者 44件、初回訪問利用者 36名、

ボランティア紹介件数 31件

活動終了件数（1件あたり7回訪問） 7件

利用者世帯（子どもの人数）

子どもの人数	4人	1組
	3人	7組
	2人	29組
	1人	15組

スタッフ構成：事務局 2名、

オーガナイザー（コーディネーター）2名

ホームビジター 第1期 11名 実働 9名

第2期 7名 実働 1名

ホームスタート・ひろしま



SNS（Facebook）の
ロゴマーク



産後ママの憩いの場 ばあばのおうち利用

平成28年開設より、利用件数が増えてきました。

平成30年度	登録件数	半日利用	1日利用	利用合計
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	3	0	0	0
7月	0	0	1	1
8月	2	0	0	0
9月	5	1	4	5
10月	7	2	5	7
11月	1	0	8	8
12月	2	0	8	8
1月	6	0	5	5
2月	4	1	7	8
3月	9	0	1 1	1 1
登録合計	3 9	4	4 9	5 3

	平成28年度（11月～3月）	平成29年度（4月～3月）
ご利用件数	11件	33件
半日利用	7件	15件
一日利用	4件	18件



ご利用者の声

- ・ 広島に来て友人知人がいなかったのも、ささいなことでもまず話を聞いて頂けたのがよかった。
- ・ おいしいごはんをゆっくり食べることができて気分もスッキリしました。
子育て情報も色々と知ることができた点も良かったです。
- ・ 前回利用させてもらった時よりも子どもも色々とできるようになっており、おもちゃを自分から触ってみたり刺激になっていたようで利用してよかったです。私自身も雑誌を読ませてもらったり、ゆっくりさせていただいてリフレッシュできました。
- ・ 少し子どもと一緒にウトウト、その間に食事の用意をしてくださる音が聞こえるのが実家に帰ったようで癒されました。
- ・ 2回目ともあり、前回よりリラックスして過ごすことができました。
サポーターさんとお話ができ楽しかったです。
- ・ いっぱい話せてスッキリしました。
- ・ 家では1対1でいることが多かったですが、ご飯もゆっくり食べれて子どももご機嫌で遊んでくれてリフレッシュできました。
- ・ アレルギーの心配があり、離乳食づくりや家事育児ともにしんどくなって夜泣きも始まって自分が休めていなかった。これでいいこと、これから起きるであろうことの会話で今も楽しめる気がしてきた。
- ・ ご飯がすごくおいしくて栄養満点。ゆっくりみんなで食べることができてよかった。
- ・ 作ってくださった離乳食の種類が多くて見た目がすごくきれいでした。
量についても適量でどれをどのくらい与えればいいのかとても参考になった。
取り分けた後の大人のご飯も美味しく、手間やおっくうになる気持ちの負担のない料理でどれも実践してみようと思うものでした。
- ・ とても居心地がよくてリラックスして過ごすことができました。スタッフさんもやさしくて子どもも楽しそうに過ごしていたので私もうれしかったです。
- ・ 大人の人と一緒にいたので安心してゆっくり眠れました。
- ・ 自分が気をはらずにゆったり過ごせれるなんて久しぶりだったのでうれしかったし、何よりご飯を出してもらえることが幸せでとてもおいしかった。
- ・ セルフケアの方法も教えてもらえて良かったです。
- ・ のんびりたわいのない話をさせていただいてとてもリフレッシュできました。
実家が遠いのでただのんびりする場所というのがなく、嬉しい時間でした。
- ・ 上の子の育児のことなど、相談にのっていただけてうれしかった。自分の育児に自信が持てなかったが、少しこれでよいのかなと気持ちが楽になった。

1. これまでの取り組み経緯

平成28年度

- 産後サポートの拠点「ばあばのおうち」開設準備
- 産後サポートの拠点「ばあばのおうち」開設とお試し利用
(11月より11件)

平成29年度

- 産後サポートの拠点「ばあばのおうち」の利用促進(33件)
- 訪問支援事業の取り組み準備
- 企業版ネウボラお試し利用(1件)、セミナーの開催(6社)
- 報告書の作成

平成30年度

- 産後サポートの拠点「ばあばのおうち」の利用定着(48件予定)
- 訪問支援事業の開始(7月より45件2月25日現在)
1件につきコーディネーター役のオーガナイザーが3回、
ボランティアのホームビジターが4回 計7回訪問
(パンフレット参照)

- おやこ食堂の開催

保育園に子どもを預けて働いている方が、親子で夕飯を一緒に食べながら、子どもの食についての悩みを話し合ったり、メニューを参考にしたり、ボランティアさんによる絵本の読み聞かせタイムで子どもが楽しみ、親同士は異業種交流の機会にするなどの目的で開催

5月(4組)、7月(2組)、9月(3組)

11月(7組)、1月(2組)、3月(6組)

- その他の拠点利用

- ・ママカフェ開催(サポーターさんによる自主事業)
- ・そなえてげんさい教室の開催(6月～3月)

企業における 産前・産後サポート事業の活用



2019年2月1日 八千代グループメリーホスピタル 企業セミナーの様子

●企業版ネウボラの推進

- ・企業訪問 4件
- ・企業内研修 1件



産後のママを取り巻く厳しい環境をレクチャー
その後、課題解決の模擬ワーク実施

アンケート結果

＜関心のある内容＞

□企業版ネウボラの仕組み (産前、産後、育休復帰から小学校入学までを企業でサポートする仕組み)	男性	7	女性	7
□人材確保	男性	7	女性	6
□産後サポートの利用推進	男性	2	女性	3
□その他(介護と仕事の両立) (ばあばのおうち)	男性		女性	1
	男性		女性	1

＜研修の内容について試してみたいプログラム＞

□企業版ネウボラ導入のメリットと導入方法	男性	6	女性	8
□家事・育児シェアを成功させる方法について	男性	3	女性	2
□産前・産後の女性理解するプログラム	男性	5	女性	4
□赤ちゃんのお世話体験プログラム	男性	1	女性	2
□家事・育児のスキル習得プログラム	男性	4	女性	3
□夫婦のコミュニケーション力UPプログラム	男性	8	女性	2
□育休復帰・復帰後サポートプログラム	男性	3	女性	7

・経済団体での講演 2件

●企業向けセミナー 2月28日 開催

参加企業 : 7社

アクサ生命保険株式会社・株式会社アドリンク
株式会社エネルギーL&Bパートナーズ・中国電力株式会社
西日本電信電話株式会社(NTT西日本)・中国電力株式会社
有限会社HUG・広島電鉄株式会社(アイウエオ順)

おやこ食堂

【利用対象：働く親と子ども（1歳～8歳頃まで）】

目的：育休明け後、働く親と子どもの食事時間の確保、楽しい夕食時間を持つため実施
内容：調理リーダー、産後サポーターさんが中心となり、
働く親と子どもの夕食を提供し、親はおしゃべりしながら日頃の困りごとを解消
子どもは異年齢でのスペシャルな時間を過ごす。

日時：2か月に1回開催

17：30～20：00

場所：産後ママの憩いの場ばあばのおうち

対象：1歳から6歳ごろまでの親と子ども（小学生の兄弟の同行可能）

受付：完全予約制

5月	利用数	大人6名	こども6名	(5歳×1・2歳×1・1歳×2)
7月	利用数	大人2名	こども3名	(3歳×1・1歳×2)
9月	利用数	大人3名	こども4名	(3歳×2・1歳×2)
11月	利用数	大人7名	こども11名	(8歳×1・5歳×2・4歳×1・3歳×1・2歳×2・1歳×4)
1月	利用数	大人2名	こども3名	(3歳×1・2歳×1・1歳×1)
3月	予約数	大人6名	こども10名	(8歳×1、7歳×1、5歳×1、4歳×2、3歳×1、2歳×2、1歳×1、5ヶ月×1)

利用合計 大人26名 こども37名



調理リーダー・ボランティア・子どもボランティアにより調理と食育を進めた



ご利用者のご感想

仕事から帰ってゆっくりご飯を食べることが少なかったのがゆっくり食事ができました。普段は食べない食材を使った料理に、自分でも作ってみようと思った。アレルギーを心配しなくても、みんなで食べることが出来て普段よりたくさん食べた。おかわりをたくさんしてくれて、他の保護者さんともゆっくり話げできた。

報告書の作成と報告会の開催

平成30年度の産後支援事業の報告書作成と成果報告を行い、
広く本事業を周知する機会とする。

実施内容：報告書の作成と成果報告会

実施期間：成果報告会 2019年2月28日

実施回数：1回

実施場所：広島市総合福祉センター

対象者：連携団体会議委員、企業人事、総務関係者、
子育て支援者「産後サポート事業」および
「企業版ネウボラ」に関心のある方

スタッフ構成：

事務局2名、訪問型子育て支援ホームビジター2名

参加連携団体

広島経済同友会少子高齢化対策委員会

公益財団法人広島男女共同参画財団

広島大学大学院教育学研究科

広島県産婦人科医会

広島県小児科医会

一般社団法人パパフレンド協会

広島市社会福祉協議会

内容 産後サポートインスタグラム投稿内容を説明
広く活動を周知してもらうための工夫と結果報告
平成30年7月豪雨災害 支援対応の説明



連携団体会議の開催

本事業の経済的自立と継続をめざし、関係団体が連携しサポートするために会議を開催する。

連携団体を増やし、個々の活動の周知と関係団体と連携することで支援の届きにくい世帯（働いており行政機関支援が利用できないなど）への情報提供、経済的な自立に向けた事業運営のアドバイスをいただく。

実施日：2018年7月 、2018年11月 、2018年2月28日

実施回数：3回

実施場所：広島県民文化センター・広島総合福祉センター

対象者・数：10名

スタッフ構成：事務局2名

連携団体名

広島経済同友会少子高齢化対策委員会	委員長	高木	廣治
公益財団法人広島男女共同参画財団	常務理事	棚多	里美
広島大学大学院教育学研究科	教授	七木田	敦
広島県産婦人科医会	理事	山本	雅子
広島県小児科医会	理事	中村	和洋
広島市立舟入病院小児心療科	主任部長	黒崎	充勇
広島県助産師会	会長	吉田	康子
一般社団法人孫育て検定協会	代表理事	山崎	勇三
一般社団法人パパフレンド協会	代表理事	北	佳弘
広島市社会福祉協議会	地域福祉課長	三村	誠司

本プログラム 産後ママの憩いの場はあばのおうち メンバー紹介

広島県産婦人科医会理事	西条ときわクリニック	院長	山本 雅子
広島県小児科医会理事	いちごこどもクリニック	院長	中村 和洋
広島経済同友会	少子高齢化対策委員会	委員長	高木 廣治
公益財団法人	男女共同参画財団	常務理事	棚多 里美
広島大学大学院	教育学研修科	教授	七木田 敦
一般社団法人広島県助産師会		会長	吉田 靖子
広島市立舟入市民病院	小児心療科	主任部長	黒崎 充勇
一般社団法人	孫育て検定協会	代表理事	山崎 勇三
一般社団法人	パパフレンド協会	代表理事	北 佳弘
社会福祉法人	広島市社会福祉協議会	地域福祉課長	三村誠司

事務局：特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

運営スタッフ 香川 恭子・横山 ゆかり

産後サポーター 黒木 一美・幸徳 宏美

山下 伊佐子・赤田 祐子

他

おやこ食堂調理リーダー・管理栄養士

三宅 由紀子

